

デビューから2年で4万食を突破し、好評が続く中泊メバル膳。メバル料理推進協議会(会長・中畑哲也)は「メバルの煮付けを簡単に食べられるお土産があったらいいのに」という声を受け、「中泊メバルでチン！(略称・メバチン！)」を開発しました。

7月3日(月)、役場で発売記念発表会が行われ、濱館町長が「中泊の新しいお土産の一つになることを期待している。メバル膳を食べたあとにメバチン！も買ってほしい」と挨拶しました。中畑会長は「美味しい津軽海峡メバルを使った贅沢なお土産。メバル膳との相乗効果で町をもっと盛り上げたい」と意気込みを語りました。

メバチン！は、税込み980円で、道の駅こどもりや町特産物直売所ピュアのほか、メバル膳提供店の計7カ所で限定販売します。



## 中泊はメバ焼き！

中里高校SBP同好会が  
発売記念発表会

中里高校SBP(ソーシャルビジネスプロジェクト)同好会(会長・古川愛華)が8月3日(木)、町農村活性化施設で「中泊はメバ焼き！」(愛称：メバ焼き！)の発売記念発表会を行いました。

メバ焼き！の企画は、3月末に愛知県の高浜高校SBPから「Sの絆焼き型」の説明を受け、自分たちでオリジナルの焼き型を使い地域活性化をしたいと思い、動き出しました。様々な形のアイデアを出す中で、町が行っている「メバルによる町おこし」の手伝いをしたいと考え、メバルの形に決定しました。餡の開発には、メバル料理推進協議会の協力の下、ブルーベリー餡、トマト餡と中泊らしいオリジナル餡が完成しました。

発表会で濱館町長は「メバル膳、メバチン！に続く第3弾が完成しました。地元の高校生が町の取組を応援してくれてとても心強い。ぜひ、味わっていただきたい」と挨拶しました。その後、メバ焼き！のデモンストレーションと試食を行いました。試食した人は「焼きたては外がカリッとして美味しい。ブルーベリーとトマトの餡はさっぱりしていて食べやすい」と話していました。



発表会で濱館町長は「メバル膳、メバチン！に続く第3弾が完成しました。地元の高校生が町の取組を応援してくれてとても心強い。ぜひ、味わっていただきたい」と挨拶しました。その後、メバ焼き！のデモンストレーションと試食を行いました。試食した人は「焼きたては外がカリッとして美味しい。ブルーベリーとトマトの餡はさっぱりしていて食べやすい」と話していました。

メバ焼き！は、普段は町特産物販売所ピュアで1個150円で販売します。イベントなどがある場合は、SBP同好会が直接販売を行います。8月10日(木)、11日(金)、14日(月)のなかどまりまつりでは、各会場で限定販売します。

